

には生まれてからずっと今まで住み続けていて、小中学校は区立の学校に通っていました。中野区は新宿などへの交通アクセスの良さもありつつ、商店街など人情溢れる環境も周囲にあり、とても温かい人ばかりで住みやすく、大好きな街です。これから、みなさんと一緒に大好きなこの中野の街の良さをいろんな人に伝えていきたいです。

○ 種市 光江 (第8回、第9回検定ものしり博士)

昭和33年生まれ。高度経済成長期の再開発著しい東京、その波は中野にも押し寄せ 遊び場だった原っぱにはブロードウェイが建ち やがてあの三角ビルの建設も始まった。

現在の中野駅周辺は再びあの頃のような。新しいビルの建設、上空には旅客機が飛び、見慣れた白い三角ビルは六月末に幕を閉じる。寂しいかぎり。でも、私達が次世代にバトンを繋ぎ ふるさと中野の 変わりゆく姿をしっかりと見守りたいと思う。

○ 高山 眞一 (第9回検定ものしり博士)

① 祖父母の代から沼袋に住んでおります。生まれて幼稚園から高校まで中野の学校で教育を受け育ち、現在も中野の企業で働いています。今年で沼袋在住 69 年中野一筋人生です。

② 成人式、中学の同窓会、友人の結婚披露宴等と沢山の思い出を演出してくれた【サンプラザ】がその歴史に幕を閉じるのは非常に寂しい限りです。

中野駅界隈の100年に一度の再開発、西武新宿線(野方駅付近⇔中井駅付近)の地下化と大きく街並みが変わり中野区は便利が高まり、住民が増え地元商店街が活性化されることを期待しております。自由な時間が増えました、安全で安心して住めるふれあいのある街づくりに今回検定で学習した知識を活用して何か役立ちたいと考えておりますので、行政としての助言と、住民の憩いの場である公園等の緑の充実を、中野区へは要望致します。

○ 宮島 茂明 (中野区観光協会理事長)

現在、一般社団法人・中野区観光協会 理事長として、活動しています。

今から35年くらい前に、中野法人会・青年部会に参加したのが、中野区との関わりのスタートでした。12年前に民間100%で、観光協会を立ち上げ、「中野大好き」「中野を活性化したい」という思いのボランティアの方達を中心に、中野区の活性化を目標に活動してきました。

中野区検定委員会には、「ものしり博士 MAP」作成で協力させていただきました。

○ 高山 義章 (中野区教育振興会副会長)

① 1954年(S29年) 中野区江古田生まれ。中野区立丸山小学校(現:緑野小)、中野区立第十一中(現:緑野中)、現在:中野区新井2丁目居住。家族:妻・子供3人・孫3人。大学卒業後、大手不動産会社にて9年間サラリーマン。1988年(S63年)家業の不動産会社に三代目として入社現在に至る。本年2023年(R5年)創業100周年

- ② * 1988年(S63年)から中野のまちづくりに関わる~35年間
* 2004年中野サンプラザ民営化に参画⇒黒字化再建・区民財産へ
* これからの中野のまちづくりを考える会代表幹事
* 中野エリアマネジメント研究会幹事
* 民間主導の中野オリジナルなまちづくりを推進
* 行政改革・議会改革が喫緊の課題